SLAVISTIKA 40号の書式（2025年4月10日時点）

SLAVISTIKA編集委員会

はじめに

　このWordファイルは、SLAVISTIKA 40号の指定書式を適用したものです。本ファイルを用いるか、参考にした上で、原稿を作成してください。なお、分量は日本語の場合、脚注を除いて25000字以内、ただし図版・表などが入る場合は、SLAVISTIKAの書式で20頁を超えない長さとなります。

　ページ設定は用紙がJIS B5、余白が上23mm、下30mm、左右21mmです。文字数と行数は40字34行（1頁あたり1360字）に設定して下さい。

　原稿の題目は1行目に、投稿者氏名は2行目に記載して下さい。ただし、投稿論文ないし研究ノートは査読の対象になりますので、投稿者氏名は記載しないで下さい。原稿の題目ないし投稿者氏名から1行を空けた上で、本文を執筆して下さい。

1. 本文書式について

　以降の節は、SLAVISTIKA 40号の「書式・提出方法」をまとめたものです。セクションに関しては、原稿が「はじめに」で始まる場合は、番号なしで「はじめに」を記載し、以降に「1.」から始めて下さい。「0. はじめに」のような形は採用しません。細かな節を用いる場合は「1-1.」「2-1-3.」のようにハイフンを入れて番号を振って下さい。

1-1. 和文本文書式

　和文フォントはMS明朝の10pt、欧文フォントはTimes New Romanの10ptで設定します。キリル文字ならびに英数字は半角でTimes New Roman 10ptとなるよう、注意して下さい。段落は両端構え、間隔は段落前後で0、行間は固定値で17ptに設定して下さい。

　原稿提出の時点では、表題・副題・著者名・見出し・副見出し・引用など、Wordファイルの本文を全て同じ書式で書いて下さい。「スタイル」の「標準」が指定のものになっています。

1-2. 欧文の場合

　本文が欧文の場合は、フォントはTimes New Roman 11pt、最初の行で字下げ3字分を設定し、段落は両端揃え、最初の行で字下げを幅3字でとり、間隔は段落前0、段落後0、行間を固定値、間隔を17ptに設定します。本ファイルでは「European Text」スタイルで設定してあります。なお原稿が和文であり、その中の一部で欧文が用いられる場合は（i.e. if you need to insert European texts into an article in Japanese; т. е., если вам нужно вставить европейские тексы в статью на японском языке）、このように和文の書式のまま入れて下さい。

This is the sample of text style in English. The font should be Times New Roman, size 11 points. The indentation of the first line must be set at 3 full-width characters (or 6 half-width characters, i.e., 6 English letters). The paragraphs must be justified. The spacing before and after is to be set at 0 points, line spacing exactly at 17 pt. The text style is included in this Word file under the name “European Text”.

Это образец стиля текста на русском языке. Отступ первой строки должен составлять 3 полных символа (или 6 половинных, т. е. 6 русских букв). Шрифт должен быть Times New Roman, размер 11 пунктов. Абзацы должны быть выровнены. Интервалы между абзацами до и после должны быть установлены на 0 пунктов, межстрочный интервал – ровно 17 пунктов. Стиль текста включен в этот файл Word под именем «Европейский текст».

1-3. 引用について

　原則として脚注を用います。番号書式は連番で「1, 2, 3…」とし、脚注内はフォントが和文でMS明朝の9pt、欧文でTimes New Romanで9pt、段落は両端揃えで、段落は段落前が0、段落後が0、行間が最小値、間隔が12ptです。なお、本文中の中番号の位置は句読点の前です[[1]](#footnote-1)。

1-4. 引用形式について

　日本語・ラテン文字・キリル文字の併用式を用います。基本的には、スラブ・ユーラシア研究センターHPに記載されている『スラヴ研究』の「引用注の様式」に倣います[[2]](#footnote-2)。複数行にわたって引用を挿入する場合は、改行して、引用の前後に1行ずつ空白を入れて下さい。以下は例です。

SLAVISTIKAは東京大学大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学研究室発行の年報です。1981年創刊時の名称はRUSISTIKAでしたが、1994年に研究室が「露語露文学研究室」から「スラヴ語スラヴ文学研究室」に改称されたことに伴い、年報の名称も現在のものに変わりました[[3]](#footnote-3)。

　参考文献表は不要ですが、つける場合は事前に相談の上、SLAVISTIKA XX以降の書式を参照して下さい。

1-5. 約物について

　「、」「。」を使って下さい。引用者の注は原則として［ ］でくくり、他の括弧類との兼ね合いで都合が悪い時は〔 〕も可とします。中略は［中略］とします。以下は例です。

東京大学スラヴ語スラヴ文学研究室では、ロシアを中心にスラヴ諸地域の言語文化を幅広く研究・教育しています［近年ではウクライナ語の授業も開講している］。研究室の精神は「伝統の保守と革新性」、［中略］それぞれの学生の個性と関心に応じて、自由な勉学ができる研究室です[[4]](#footnote-4)。

2. 要旨について

　投稿論文ないし研究ノートの場合は、原稿の本文が和文なら欧文の要旨を、原稿の本文が欧文なら和文の要旨を最後に付けて下さい。本Wordファイルの最後に要旨の例を入れます。

2-1. 欧文要旨の場合

　要旨が欧文の場合は、フォントをTimes New Roman 10pt、段落は両端揃えに設定し、最初の行は字下げを3字分、間隔を段落前0、段落後0、行間を固定値で17ptに設定して下さい。

2-2. 和文要旨の場合

　要旨が和文の場合は、フォントを和文でMS明朝、欧文でTimes New Romanに設定の上、サイズは10ptにして下さい。段落は両端揃えで、間隔は段落前0、段落後0、行間を固定値で17ptに設定して下さい。

3. 提出方法

3-1. 投稿（査読あり）の場合

　執筆者の匿名性が保持されるよう、心がけて下さい。自己引用の場合は第三者的に指示するなど、工夫して下さい。査読用論文冒頭には題目のみを入れ、執筆者指名は記入しないで下さい。ファイル名には著者名を入れず、論文題目の一部などを使用して下さい。また、Wordファイルのプロパティに個人情報が無いことを確認して下さい。

3-2. 提出方法

　Wordファイルでslav@l.u-tokyo.ac.jpに送付して下さい。メール本文に、表題・執筆者指名・執筆者所属（2026年3月時点、複数ある場合は代表的なもの）を書き添えて下さい。提出前に書式等が揃っているかどうか、ご確認ください。

3-3. 図表がある場合

　編集段階でズレが生じないよう、工夫して提出して下さい。

おわりに

　他に不明点がある場合は、SLAVISTIKA編集委員会（slav@l.u-tokyo.ac.jp）にお問い合わせ下さい。

Required Format for the Journal SLAVISTIKA no. 40

Editorial Committee

This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках. This is a sample text style for the abstract in European languages. Это образец аннотации на европейских языках.

1. これは脚注テキストのサンプルです。脚注内であっても、和文がMS明朝、欧文がTimes New Romanに設定され、半角英数字がTimes New Romanになっているよう、ご確認ください。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター「『スラヴ研究』ほかスラブ研究センター和文出版物の引用注の様式」[https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/publictn/slavic-studies/slav-chu.pdf] (2025年4月10日閲覧)。 [↑](#footnote-ref-2)
3. SLAVISTIKA編集委員会「研究室年報SLAVISTIKA」[https://www.l.u-tokyo.ac.jp/slav/slavistika/] (2025年4月9日閲覧)。 [↑](#footnote-ref-3)
4. 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学研究室「TOP」[https://www.l.u-tokyo.ac.jp/slav/] (2025年4月10日閲覧). [↑](#footnote-ref-4)